

ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム

平成 29 年度第七回企画運営委員会議事概要

【日時】 2017 年 12 月 7 日（木）12 時 00 分から 12 時 58 分

【場所】 情報科学 C 棟 401 室

【出席（敬称略）】 清水（委員長・情）、尾上（情）、藤原（情）、井上（情）、谷田（情）
松下（情）、原（情）、難波（生）、細田耕（基）、細田一（情）、中野（生）、中村（基）
EUM（情）、楊（情）

【事務局】鐘ヶ江（情/大学院係長）、徳野（情/部門事務局長）、谷川（情/部門事務）
岡本（情/部門事務）、井汲（情/部門事務）、森田（生/部門事務）、嘉村（情/部門事務）
上田（情/部門事務）

【欠席（敬称略）】 増澤（情）、村田（情）、若宮（情）、柳田（生）、平岡（生）、八木健（生）
近藤（生）、大澤（生）、藤田（生）、石黒（基）、宮崎（基）、松岡（サイバー）
石井（生）

【事務局】松岡（情/事務長）

配布資料

HWIP ホームページ教員用ページにアップします。（パスワード：HWinnovation）

議題

(1) 教務委員会（資料あり）

○教務活動の進捗について説明があった。

○審査など

・最終試験

①予備審査について

詳細な説明があり、質疑応答の後、16 名全員を予備審査合格とした。

条件のついた履修生については、最終審査の日までに解消するよう指導することとした。

②最終試験（公開研究発表会）不在について

履修生 1 名と審査委員（副査）1 名から申出書の提出があり、それぞれについて詳細な説明があった。

履修生については、審査委員全員からのスカイプによる発表が差し支えない旨の意見もあり、そのようにすることとした。

審査委員については、出張先でのネット環境、スケジュールなどのリスクがあるため、発表会以前に当該の審査委員と履修生で非公開の発表を行い、その際のこ

メントを発表会当日の資料として提出することとした。

③最終試験（公開研究発表会）および RQE の進行について

詳細な説明の後に種々質問等があり、次のとおりとすることとした。

最終試験の審議時間が不足する場合は、その日の全ての最終試験終了後に改めて審議を行う、或いは別の日に審議を行い、3月1日までに条件が整えばプログラムの修了を認めることとした。

また、タイトなスケジュールへは、最終試験の司会（指導教員）を始め、全関係教員に対して事前に時間厳守の徹底をお願いする、特任教員を廊下に配置して混乱をなくす、審議のための別室を1室追加する等により対応することとした。

○その他

来年度から英語による新規科目を開設する旨の報告があった。

(2) リーディング大学院選抜委員会（資料あり）

○Pre-QE の結果について

対象者に21名について、2名を履修停止に2名を条件付きの合格としたい旨、次のとおりの説明があった。

履修停止のうち1名は本人の進路変更の希望により、他の1名はこれまでのプログラムにおける授業・活動の成績とPre-QEでのプレゼン、質疑を総合的に判断し履修停止とすること、条件付き合格の2名については、それぞれ改善案を履修生本人或いは指導教員に伝える等の対応を行うことが承認された。

なお、履修停止の2名についての最終の合否判断は委員長とプログラムコーディネーターに一任することとした。

(3) 海外連携委員会（資料あり）

○北米研修に伴うオリエンテーションや危機管理説明会及び渡航日程の説明があった。
危機管理について徹底を図ることが確認された。

(4) 産学官連携委員会（資料あり）

○イノベーション実践演習とその発表会について報告があった。

(5) 広報企画委員会（資料あり）

○清水教授から、リーディングプログラム合同説明会（吹田、豊中合算）アンケート集計について報告があった。

(6) その他

① PO 訪問について (清水教授 資料あり)

1月23日(火)に訪問がある予定で、その際に最終試験(公開研究発表会)臨席する旨の報告があった。

② 国際アドバイザー委員会について (清水教授 資料なし)

1月24日(水)11:00に開催してプログラム全体の評価をお願いし、引き続き12:00から履修生、国際アドバイザー委員、教員により昼食会を行う旨の報告があった。

③ 英語教育について (オム特任准教授 資料あり)

12月、1月の企画について報告があった。

清水教授から TOEIC730 点に達していない履修生全員に対して、TOEIC IP テストの受験を強く勧めるよう発言があった。

次回 : 2月1日(木) 12:00-13:00 情報科学研究科 C 棟 4 階 C401